



ぼくはんてん

ぼくはんてん

医療法人 静和会
浅井病院
老人ケアセンター浅井
新検見川メンタルクリニック
社会福祉法人ゆりの木会
ゆりの木苑



広報 ASAI HEALTH CARE GROUP

No. 2231 28-49

平成28年12月2日

第39回 浅井ヘルスケア グループ文化祭開催される

文化祭実行委員長 戸村 崇宏

11月26日土曜日に第39回浅井ヘルスケア グループ文化祭を開催しました。24日には54年ぶりという雪が降り心配しましたが、文化祭当日は、天候にも恵まれ、秋晴れの日となりました。

昨年から1日のみの開催となった文化祭ですが、各部署のご協力の元、充実した文化祭になっていたのではないのでしょうか。まず、模擬店では、デイケアが、じゃんけんたこ焼きを行なっていました。模擬店の前では、たこ焼きを前に、じゃんけんを楽しむ姿が見られ大変盛り上がっていました。私はじゃんけんが少し恥ずかしく、ちょっと並んだのですが、食べることをあきらめました。また今回の模擬店では



おしるこにはお餅も入っており「おいしい」と好評でした。フランクフルトは焼いているスタッフの手つきが職人のよう思わず、買ってしまいました。とても美味しかったです。そしていつも、売り切れごめんのすてっぷうどんも食べることができ、とても美味しかったです。今年の活動交流は、「君の名は。」でおなじみの、組みひもでした。なんと紙コップでも出来ることに驚きました。そしてC棟内では、午前中は恒例のふれあいミニコンサートです。笠嶋先生を中心に音楽療法の先生方、病棟の患者さん、デイケアのメンバーさん達が普段の練習の成果を出す場です。がんばって歌う姿に、会場は暖かい拍手に包まれました。また、

ギターのエレキ語り、ハーモニカ演奏では、名曲の演奏に会場は聴き入っていました。そして午後からは、『さんぽみち』による昭和歌謡のバンド演奏が行われました。昭和歌謡のメロディーに会場は自然にお客さんが集まっていた。演奏の合い間にはお客さんとの会話に笑いがあり、会場に来られた方は「上手いね。」「この曲は三橋美智也だね。」など笑顔で話しておりました。

また保育所の展示コーナーは今年も、かわいらしいどんでんで作ったカレンダーや、すばらしい子供達の描いた絵が飾られていました。他



にもデイケアの絵ハガキ、フォトピクニックの写真作品はパソコンでスライド上映されており、沢山の方が足を止めておりました。また茶道の体験コーナーも人気があり、沢山の方が体験されておりました。デイケアで行っている華道の作品を飾った喫茶レインボー、毎年好評のクイックマッサージ、似顔絵コーナーも開始前に「予約はいつから」と楽しみにされている方が聞きにこられました。他にも沢山の魅力ある企画がありましたが、文字数の関係で書くことを控えます。

文化祭は無事終わりましたが、ちょっとお客さんが少なかったような気がします。もっと沢山のお客さんに来ていただきたいと思います。

入院患者さんもこの日を楽しみにされている方は多く、今回もとてもよい表情が見られました。来年も規模は小さくとも暖かい文化祭が開催できたら良いなと思います。協力してくださった皆さま、お疲れ様でした。そして、会場に来て下さった皆さまありがとうございました！

C棟イベント会場

○ふれあいコンサート

医療福祉科 作田 滋

C棟多目的ホールにおいてふれあいコンサート、ミニコンサートが開催されました。ふれあいコンサートは、普段病棟などで音楽療法の練習をしている成果を披露する場となっています。笠嶋道子先生をはじめ音楽療法の皆さんのリードでコンサートが始まり、デイケア、A3病棟、E2病棟、A4病棟、C病棟より合唱やハンドベル、打楽器演奏がありました。一生懸命声を出している方、気持ちを込めて歌っている方、自分で作詞した歌詞で歌われる方など様々で、中には作詞作曲した歌をピアノの弾き語りでも披露された方もおり、演奏が終わった後の満面の笑顔が印象的でした。病棟にいるときは違う堂々とした姿に私も驚きました。ハンドベルもよく合っていて見事でした。曲目は演歌から童謡、ポップスまでなじみの曲ばかりで、会場に来られた方も歌詞本を見ながら一緒に歌を一緒に口ずさみ、楽しいひと時を過ごされていました。

ふれあいコンサートの後はミニコンサートがあり、STEPに参加している方のハーモニカ演奏と、プレリワーク参加者のギターの弾き語りがあり、心地の良い音色に耳を傾けていました。



○昭和歌謡曲バンド「さんぽみち」ライブコンサート

医療福祉科 篠原 聖英

午前のふれあいコンサートが終わり、お昼を過ぎた13時30分からは千葉県で活躍している昭和歌謡曲バンド「さんぽみち」さんのライブコンサートを行いました。ボーカル・パーカッションの【カルロス・今井】さん、サクスの【セセンタ・みね】さん、ギターの【アントニオ・宮内】さんの息のあった演奏と素晴らしい歌声で懐かしい昭和歌謡や童謡、ラテンなど様々なジャンルの曲を披露して下さいました。最初は空席が目立っていた会場も開演してからは歌声と演奏につられ多くの方が来て下さいました。MC 中には

観客との交流も積極的にあり、終始和やかで盛り上がりのある時間でした。最後にはアンコールにも応えてくれあつという間の1時間のコンサートは大盛況となりました。



○デイケア・OT作品展示コーナー

精神科デイケア 永井 亜理沙

作品展示では今年も、編み物、切り絵、陶芸、籐工芸、塗り絵、PhotoPicnic など活動でみなさんが作った作品が数多く飾られました。足を運んで下さった方の中には、「これも手作り？すごいね」と感心されている方もいらっしゃいました。メンバーさん同士でも作品を見せ合っており、その表情は誇らしげでした。自身で作った作品が堂々と披露され、皆さん嬉しそうな姿を見てスタッフもほっとしました。病棟のベテランさんによる自作の絵も迫力的な作品であり、作品に吸い込まれてしまうほど、思わず近くで見入ってしまう作品ばかりでした。みなさん、自分の作品を発表する良い機会になったと思います。またこれを機に意欲が湧き、より良いものを作り出してくれるといいです。



○抹茶コーナー

精神科デイケア 森田 和愛

抹茶コーナーでは、本格的なお作法でお茶を頂く事ができる場となっております。デイケアのメンバーさんが普段の茶道プログラムで培った技術を活かしてお茶を一服たててくださいました。昨年は午前中のみの運営でしたが、今年は午後から運営させていただきました。午後からの運営にも関わらず、たくさんの方々がお茶を飲みに来て下さり、お干菓子も美味しいという声をいただきました。

茶道はもともと唐（618～ 907）の時代の中国から伝わったと言われています。茶道の精神は禅宗の考え方に基づいており、鎌倉時代、日本全国に禅宗が広まるのと共に茶道も全国的に広まりました。そして、室町時代の華やかな東山文化のもと、茶の湯が成立しました。その後、安土・桃山時代に千利休が侘茶を完成させ、これが現在の茶道の原形となりました。豆知識になりましたが、こうした茶道の文化に思いをはせながらお茶をいただくのもいいかもしれません。



○喫茶レインボーコーナー

心理科 長尾 俊宏

今年も文化祭で「喫茶レインボー」の営業をさせていただきました。今年はオープン時から多くのお客様にご来店いただきました。ケーキセットも例年では残っていることが多いのですが、昼過ぎには完売しました。お越しいただいた皆様、ありがとうございました。

現在、通常営業日は火曜日の13:30～となっております。場所はD棟1階プレリワーク内にて営業しております。皆様のご来店を喫茶レインボースタッフ一同お待ちしております。

ちなみに、コーヒーは本格エスプレッソマシーンを導入しています。ぜひ、コーヒーを飲みにいらしてください。

(営業日時 : 毎週火曜日 13:30～15:00 場所 : D棟1階 プレリワーク内)



○老健施設展示コーナー

老健施設 支援相談室 鈴木 義枝

老健コーナーでは、パネルによる老健施設紹介、利用者の皆さんの作品展示、健康チェックコーナーを行いました。

作品展示では、利用者の方々が、リハビリやクラブ活動で作られた作品を多数展示させていただきました。入所者で毎回常連の浅井泰子様は、今回も素敵な織物を出品されました。また、他の方々も願い事をクリスマスバージョン風に綴った短冊や、絵手紙、動物の編みぐるみ等々、どれも丹精込めて作られたものばかりでした。見学されていたお客様は、みなさん出来栄えに感心されており、「展示品には手をふれないように。」と張り出していました。どんな素材なのか、どのように作られているの興味津々で触ったり手に取って確認されている方もいらっしゃいました。

健康チェックコーナーでは、今回は骨健康測定器で骨の強さの測定を行いました。ここ数年は血管年齢やストレスチェックを行っていましたが、みなさん自分の骨の健康状態がどうなのかも興味を持っていらっしゃる様子です。今回は例年よりも多く50名以上の方が測定されていきました。5段階評価になっていましたが、AやBの判定が出た方はほんの僅かで、多くは標準または弱いとの結果が出ており、この測定を機会に日々の生活の中で運動や栄養面などを意識していただけると幸いです。

たくさんの方にお越しいただきましてありがとうございました。



○ゆりの木苑展示コーナー

ゆりの木苑 銅銭 公一

ゆりの木苑コーナーでは、ご利用様が普段の趣味活動でおこなっている作品を中心に展示をしました。

文化芸展にも出展した達筆ぞろいの書道の作品を中心に、その他には大きな模造紙に折り紙を貼りあわせ、今の時期にぴったりの紅葉をテーマとした作品や、紙粘土で作られたご利用者のたくさんの作品など個人の作品などが並びました。どれも、ご利用者の方々が精魂込めた作品に出来上がりました。当日は、ご自身の作品を観に来られ、飾られている作品に大変喜ばれておりました。ご利用者の皆様方も、文化祭で披露出来る事を楽しみに、日頃の趣味活動に励んでおります。



○クイックマッサージコーナー

リハビリ部 君塚 昭美

C棟スタッフミーティングルームで行われましたクイックマッサージ、今年マッサージをお受けいただいた方は11名でした。椅子の稼働率は、37%で、昨年よりも16%減となっていました。これは全体として、来場されたお客様が少なかったことが影響しているものと思われます。例年文化祭では、日頃かかわることの少ない職員の方々にもご利用いただいております。今年もご利用いただきました皆様、ご協力ありがとうございました。少しでも、日頃の疲れの癒しになっておりましたらうれしく思います。

また、今年も盲導犬キーホルダーの販売を行いました。売上金は日頃の募金とともに、日本補助犬協会へ送らせていただきます。ご協力ありがとうございました。

最後になりますが、今年も準備から片付け、そして当日受付をしていただきました職員の皆様、ご協力ありがとうございました。



○保育所展示コーナー

やまもも保育所 中村 江麻

今年も、親子で作った作品を文化祭で展示しました。子ども達と散歩をして集めたどんぐり、職員が探してきたつる植物など、今年もいろいろな材料を用意し、親子で力を合わせて1つの作品を完成させました。

どれも個性豊かな作品が出来上がり、子ども達にお願いをして作品を貸してもらい展示させていただきました。さて、展示コーナーでは、『細かい所まですごいですね』『うちにも欲しい!』『素敵な作品ですね』『今度作ってみようかしら』…等、いろ



いろなお話を聞かせてもらう事が出来ました。いろいろな意味で、みなさん懐かしいひと時を過ごせたのではないのでしょうか…。今年も、たくさんの方に来ていただき素敵なお言葉を掛けていただきました。ありがとうございました。



テニスコート会場

○地域支援コーナー

地域生活支援センターゆりの木 村松 純子

地域支援コーナーでは、地域生活支援センターで行っている手工芸とオランダフョークアートの作品の展示販売と、サンフラワーで作った梅干しの販売を行いました。当日は寒空の中ではありますが多くのお客様に作品を見ていただき、例年同様、多くの作品をお買い求めいただきました。製作者の中にはファンのついた「作家さん」と呼べるような方々もあり、完成度の高さも自慢です。年々地域に活動先が増える中で活動に参加できる利用者も減少してきていますが、自宅で作り貯めた作品を持ち寄り展示する場ともなっています。サンフラワーは就労支援事業所として作業活動から就職支援まで幅広い支援を行っています。病院のリネン交換やゆりの木苑での仕事など法人の協力もいただいています。今回は病院から提供いただいた梅で梅干しの製造を行い、作業工程の展示と販売をさせていただきました。同じ建物にある地域の事業所として、今後も協力し合える関係を大切にしていきたいと思っています。



○デイケアバザーコーナー

精神科デイケア 永井 亜里沙

今年もデイケアバザーでは活動中に作成した、陶芸・籐工芸・手工芸作品が出品されました。中でも1番人気だったのは、お手玉つめ放題です。みなさん袋いっぱい詰めており、「まだ入るよ」、「ちょっと押しながら入れるといいよ」とコツをつかみながらたくさん詰めていました。つめ放題って言葉、なんだかお得に感じてついついやってみたくなるものですよ。お手玉つめ放題は大盛況となり、あっという間に完売となりました。そしてメンバーさんが日々チクチクと刺した刺し子も大人気。一度に何枚も購入して下さった方が多く、20枚以



上あった刺し子はあっという間に売れていきました。メンバーさんの中には自分が作った作品を見にきたり、売れたことで笑顔を見せており、皆さんにとってよいバザーになったと思います。

〇〇Tバザーコーナー

精神リハ科 秋元 千香

OT バザーコーナーでは、毎年プログラム中に作成された手工芸作品や陶芸作品を販売しております。文化祭の時期は肌寒いので、ストールやマフラーの売れ行き良好。可愛い羊のブローチや髪飾りもあり、手に取りながら「どれにしよう」と悩む姿もちらほら…。そして、今年は『陶芸作品全品10円』破格の値段展開。おかげさまで56点の陶芸作品を売ることが出来ました！ OT バザーは、早いもの勝ちのため「1回周ってからまた来て買うわ」なんて命取り。戻ってきた頃にはもうありません（笑）それもこれも、足を運んでくださる老若男女、皆様のおかげです。毎年「こんな素敵な物なのに安いわね！！」と仰ってくださる方もいて、ちょっと自惚れてしまうスタッフでした♪



〇作業療法園芸販売コーナー

精神リハ科 小山 裕介

農耕販売コーナーでは毎年恒例11月18日に入院患者さん、デイケア・メンバーさんで掘って収穫したさつまいもを販売しました。今年も詰め放題!! お客さんは袋を広げ、空いたスペースに細いさつまいもを詰め、何とかしてたくさん持ち帰ろうと必死に詰めていました。たくさん入れ過ぎて袋が破れてしまった方もいらっしゃいました。また、袋の口以上には詰めないようにがルールでしたが…ええい!!おまけだ!!とおまけがたくさん出ていました（笑）。 売れるや売れるやでお昼頃には見事に完売!!ちょこちょこと売れ行きが気になって見に来ていた農耕に行ったメンバーの方も「もう売れたんだね」等と嬉しそうに話していました。来年も今年以上にさつまいもを収穫して文化祭でお売り出来ればなと思います。



〇活動交流コーナー

精神リハ科 越谷 周栄

今年の活動交流では、今話題にもなっている「君の名は。」に出てきた「組み紐」です。患者様や親子連れの方など様々な方が来て下さいました。組み紐は通常、組台という台を使用して編みますが、今回は身近にある紙コップを使用しました。工程は、覚える事の少ない単純作業の繰り返しの為、子どもから大人までできるものとなっています。日差しが当たり、頬を真っ赤にしながらも一生懸命に取り組まれているお子さんや、「ママにあげるんだ」と編まれているお子さんもいらっしゃいました。途中で疲れて手が止まると、親

御さんが一緒に手伝いながら取り組まれていました。完成しなかった場合や用事のある方は、そのまま持ち帰っていただきました。帰り際、「ありがとう」と言って下さる皆さんの笑顔がとても素敵でした。準備が大変でしたがやってよかったなと思いました。ありがとうございました。



C棟前庭会場

〇すてっふうどん

精神科デイケア STEP 黒川 彩子

毎年恒例となっております「すてっふうどん」。今年はさつまあげを変えてみました。いつもは大きめのさつまあげ1つでしたが、小振りなさつまあげ2つを入れました。またつゆはスタッフ特製でして、つゆ、みりん、料理酒等々を調合して出来上がったものです。私にはまったく作れそうにありません。つゆを割るだけで精一杯です。隠し味も入っているようで、ヒントは甘くてとろっとしたものです。

今年は220食分の準備をして文化祭に臨みました！ STEP メンバーさんもお手伝いとして駆け付けてくれて、晴天に恵まれる中すてっふうどんを作っていきます。お味は大好評！特につゆが美味しいとの声がたくさん上がりました。ですが客足が伸びず…職員さんにたくさん召し上がっていただきました。2杯以上召し上がっていただいた方が大勢おられまして、本当にありがとうございました！また来年度も美味しいうどんが提供できるように、頑張ってお参ります。



〇似顔絵コーナー

アウトリーチ科 三橋 文子

一昨日の雪も嘘のように晴れ渡り、絶好の文化祭日和。似顔絵コーナーの前には、マツコデラックス、ピコ太郎、オードリー春日と、最近の話題の人気芸能人の色紙がずらりと飾られ目をひきます。

恒例のおうすけ先生、えつこ先生による似顔絵コーナーも大人気で、毎年描いてもらおうと楽しみに来られるお客様、親子、兄弟姉妹、友人同士など、お客様が次々といらっしやいました。

お客様が椅子に座ると、瞬時に特徴をとらえ、お客様に「色白ですね」「可愛いですね」と色々と話し掛けて緊張をほぐし、色紙にスラスラと描き出し、10分程度で出来上がり完成で



す。出来上がりは、感性、才能、技能が凝縮、さすがプロ、そっくりです。

出来上がった似顔絵を見たお客様が「素敵に描いてもらい、嬉しいです。皆に見せて自慢します。宝物になります」と感激。満足され帰られました。

それに対して「お客様が喜んでくれることが一番嬉しいです」とおうすけ先生とえつこ先生。こんなに喜んでもらえる仕事が出来て最高ですね。また、次回を楽しみにしています。ありがとうございました。

○ザ・集中力 リハビリ部 澁谷 智久・加藤 恭章・田村 美幸

今回はワーキングメモリーに着目し、それを刺激するようなゲームを行いました。4×4の16マスにランダムに表示される数字を記憶・再生してもらったり、さまざまな色のパネルの位置を記憶・再認したりするような記憶パズルゲームです。難易度が徐々に上がる3問に答えて、正解するとお菓子が最高3コGETできるというおまけつきでした。

あまりお客さんは多くありませんでしたが、参加して下さった方々はとても楽しそうでした。3問目は結構難しく作成したつもりでしたが、年齢問わずほとんどの方が正解され、正直驚きました（自分が行ったときはあまりできなかったの...）。皆さんの集中力とワーキングメモリーに完敗です。あっぱれ！！次回は、身体の動きも伴うより複雑なものも用意したいと思います。お楽しみに！！



デイケアじゃんけんたこ焼き (DCJKTKY) 精神科デイケア 門脇 康弘

はんてん木まつりで大好評だったじゃんけんたこ焼き。今回急遽出店する事になり大慌てで準備をしました。前回は売れるかどうかおそろおそろだったのですが、終了までとめどなくお客様がきて、追加追加で合計1000個以上のたこ焼きを売り上げました。しかし、じゃんけんでは負けたら何が入っているかわからない、というのは不満も多く、今回は買った数が増え、負けたら減る、じゃんけんしなければそのままという形式にしました。

予想外にじゃんけん希望者が多く、後出しが得意な「じゃんけんマダム」とじゃんけんしては喜んだり、くやしそうにしたりと楽しそうにされていました。他に予想外だったのは、強気にもはんてん木まつりの8割程度の数量を注文したのですが、13時過ぎには売り切れてしまいました。ペースで言えばはんてん木まつり以上の売り上げを記録し、達成感でいっぱいです。じゃんけんたこ焼きは進化していきますので、次回もお楽しみに。ちなみにじゃんけんマダムも進化します！



晴天の中、文化祭が開催され、多くのお客様が模擬店の食事を楽しまれました。文化祭の開催にあたり、数か月前より多くの部署が集まり会議を何回も行い、前年の反省を生かし、今回の文化祭に臨みました。ここ数年、どの部署も通常業務多忙とのことで文化祭のスタッフとして参加して頂ける職員の方が少なくなり調理全般は栄養科で行うようになりました。昨年に引き続き今年のメニューは「焼きそば・フランク・メンチ・けんちん汁・おしるこ・麦茶・カルピス」でシダックスから「おでんとスピン」を行いました。昨年は食券がお昼過ぎに無くなってしまったため、今回は全て200食増やして準備致しました。その甲斐あって、不足することなく皆さんに美味しく召しあがって頂くことができました。中でも「けんちん汁」は、栄養科で、けんちんの具材を煮て、会場でめんつゆとごま油、みそ少量を加え味と風味をだし、どんぶりに盛り付けてから葱をちらし、お好みで七味をかけて頂くといった感じで提供を行いました。寒い外での熱々のけんちん汁のお味は皆さん「とっても美味しい!!」とのお声を頂きました。

また、お汁粉も甘くて、とろとろのお餅がとても美味しく、長蛇の列を作って買いに来てくれました。厨房では、シダックスの調理師や、病棟から手伝いに入ってくれた、ケアスタッフの方も手際よく調理を行ってくれ、スムーズに模擬店会場に食品を運ぶことができました。他部署の模擬店では、プロが焼いたようなデイケアスタッフによる「たこ焼き」や、ロングウイナーが魅力のクレアによる「ホットドック」や、だしと具材にこだわった本格うどんの「すてっふうどん」、シダックスからはサクサク揚げたて「スピン」と熱々「おでん」の提供を行いどのお店も盛況に終わることができました。

たくさんのお客様が、美味しそうに、召し上がっている姿に浅井ヘルスケアグループ一同本当に幸せを感じることができました。このような、大きなイベントが実行できるのも、名誉院長先生をはじめ、理事長先生、事務局長、安井先生のおかげであると思ひ本当に感謝しております。ご協力して下さったスタッフの皆さん、ありがとうございました。また来年も、温かく美味しいメニューを皆さんに提供できるよう頑張りたいと思います。



第39回 浅井ヘルスケアグループ文化祭

11月26日(土) 10:00~15:30
雨天決行

紹介イベント

- *コンサート *作品展示 *バザー
- *模擬店 *喫茶レインボー *茶道
- *似顔絵コーナー *マッサージ
- *活動交流コーナー

みんなできてね♪

小さなお子様から高齢の方まで
幅広く楽しめるイベントいっぱい。
お誘いあわせのうえお気軽にお越し下さい。

浅井病院 東金市家徳38-1 0475-58-5000

マスコットキャラクター
はんでんぼーくん

千葉日報

2016年11月25日(金)



おお たけ

大嶽部屋

りき し

力士 来たる



日時：12月21日（水）

第1部 力士登場 13:00～14:00

第2部 恒例 もちつき大会 14:00～15:30

場所：浅井病院 C棟 多目的ホール

第432回院内研究会〔平成28年11月25日〕

テーマ：「各部署のIng 2」～各部署の課題への取り組み～

○適切な排便を導くためのアプローチ

君塚 律子・石井 奈美(A4病棟)

A4病棟では一昨年より要介助者を対象におむつゼロ運動の一環として出来る限り下剤を使用せず自然に近い形での排便ができる事を目標として様々な取り組みを実施、現在に至っている。要介助者への取り組みは定着しているが、その一方で一見問題ないように見える患者が実際には排便の有無の確認がはっきりせず、とりあえず毎日屯用の下剤を服用していたり、希望するままに毎日屯用の下剤を服用、その結果下痢をしたり便失禁を招くなどの排便困難な状態が多く見られる現状がある。

このままではいけないのではないかと、何らかの介入が必要ではないかとの思いから昨年度より排便困難と思われる対象患者の内服薬、食事、活動その他の情報をもとに他職種を交えてアセスメントし、原因別にグループ分けをして適切な排便習慣が身に付き身体合併症予防に繋げるため実践できる事から始めてみた。

対象患者の情報収集で得た調査結果から見えた事として排便状況については性状や排便時の状態から何らかの苦痛を伴っている患者が多い事がわかった。内服薬については全患者が副作用に便秘がある精神薬を服用、またほぼ全員が何らかの下剤を服用している事がわかった。食事、水分摂取については問題ないように見えるが、残している内容に着目すると半数が副菜を残していることがわかった。活動状況については半数以上の患者が棟内で過ごしており、買い物やOT参加の外出をしても歩行時間が10分以内と短い。この事から全患者の活動量が低下している事がわかった。

一昨年この場で当病棟が発表したおむつゼロ運動の取り組みの中にあつた“意識”も大きな意味をもつと言える。これまでの要介助者の取り組みをしていくうちに何事も無理と決めつけずにとりあえず出来る事をやってみようという意識がこの2年間で徐々に定着してきていることに大きな意味があり、スタッフ間が同じ意識を持ち試行錯誤しながらも日々の働きかけを積み重ねることが患者へのより良い援助へつなげると考えている。

今後の課題として、対策を計画通りに出来る事が少なく評価がしにくいところがあること、また他職種を交えての取り組みとしているが対策を立てた後の評価までには至っていない。今後この取り組みを継続していくためにも適宜評価、内容の検討、修正をする必要がある。

今回、要介助者以外の患者への取り組みを行うにあたり、思い通りには進まない事が多く、結局は下剤に頼る部分が多くなっている現状もありゴールが見えない難しさは変わらず感じている。慢性期をたどる患者との関わりを考えると煩雑な業務の中、一目目立たない患者に対して関心が低くなりがちの中、今回のような取り組みを継続し常に現状のままが良いのかを検討していく事で、そのような患者にも関心を寄せるきっかけになり、スタッフ、患者間の関係性を築くことにもつながり、当初の目的の他に精神面にも働きかけることができるといった相互作用となることも今後期待したいところである。

○E 2病棟の Ing 2 ケアスタッフの業務の見直しについて

川島 康知・古川 富士子（E 2病棟）

1. はじめに

E 2病棟は現在患者数42名の精神科生活介護療養病棟(男女混合閉鎖病棟)で、長期入院患者が多く占めており、平均年齢が60歳と高齢化が進み、徐々に身体機能の衰えもみられ日常生活の援助も拡大してきている為、生活介護及びQOLの維持向上に主眼をあてている。

2. 研究発表の目的

病院は他職種により構成されたチーム医療を行っているが、中でもケアスタッフは患者の生活面や精神面でのケアを担う大事な存在であり、当院でも（ケアスタッフの質向上プロジェクト）が始動となり、今後もチーム医療の一員として大きな役割を担う職種となると考える。そこでE 2病棟でもケアスタッフの質向上を目指し、患者ケアに重点をおけるよう効率化出来る業務は無いのか、現在特に時間のかかっている衣類の仕分けに着目し業務の見直しと検討を行ったのでここに報告する。

3. 問題点改善の為の情報収集方法

- ①H28年6月～7月末までの2ヶ月間の洗濯済み衣類の仕分けにかかった時間を調査。
- ②ケアスタッフを対象に衣類仕分け・整理に関するアンケートを実施し意見を出し合う。

4. 結果

- ①返却衣類の仕分けは火・金曜日の週2回で、ケアスタッフ2名で合算し平均2時間かかり当日に終わらない事もあった。
- ②アンケート結果では、保管場所が大部屋(病室)の為、夜間に着替えを取り出せない。衣類が多く、かなりスペースを取る為衣類を極力減らしたい。家族の面会時に衣類の交換や購入を依頼したい。などの意見が多かった。

5. 改善内容と考察

- ①衣類仕分けの時間短縮の為、午後のオムツ交換に看護師も入る事により衣類仕分けに当てる時間を増やした。衣類仕分けのケアスタッフが2名の場合看護師も手伝い時間短縮を図った。
- ②家族に対し面会時や電話にて衣類の持ち帰りや交換が可能か調査し、持ち帰りが可能な家族に関しては、面会時にお願い出来るように事前に準備しておくようにした。郵送が可能な家族に関しては着払いで送る事とした。
その他の改善内容として、夜間用にシーツ類を臨時に清潔倉庫に準備する。私物のある患者でも夜間は公用で対応するようにする。衣類関係に関わらず排便チェック表とリースチェック表を作成し同時に記入する事で業務時間の短縮を図った。これらの改善により時間にゆとりが出来、患者と触れ合う時間も増えて来ている。

6. まとめ

今後も協力が得られない家族に対しどのように衣類交換や購入を依頼するかは課題が残っているが、今回業務内容を見直し、改善する事で、以前に比べケアスタッフの質向上が出来たのではないかと考える。これからも、いかに患者と関わる時間を増やせるか、スキルアップ出来るかを考えて日々の業務を行いたいと思う。

中学生「職場体験学習」を終えて

プロジェクト推進室 小澤 宏行

10月26日から11月18日にかけて、山武地域の中学校の職場体験学習を受け入れました。東金市3校、大網白里市・山武市・九十九里町各1校の計6校から、男子4名、女子15名の計19名の中学生が来院しました。

今年のなりたい職業第1位は看護師（8名）、第2位は医師（3名）、第3位は薬剤師・放射線技師（2名）でした。体験学習の事前打ち合わせの時に、直接生徒から興味のある職業を聞きましたが、皆しっかりとした考えを持って当院を希望されていて、「自分の中学生の時は、将来のことをここまで真剣に考えていなかったなあ」と、今更ですが内心焦りながら話をしました。

せっかく当院での体験を希望してくれたので、希望の職種だけでなく、全員が同じく全ての部署を回れるように、各部署の方へ相談し、スケジュールを調整しました。

今回は、医局・薬剤部・看護部・検査部・栄養科・STEP・精神科デイケア科での体験をさせていただきました。

検査部では実際にエコーを体験させてもらい、実際に自分の臓器の形を見ることが



できたことに驚いていました。看護部ではB2病棟で看護スタッフについてまわり、休む間もなく患者さんのもとへ向かう姿に感動していました。STEPでは利用者の方と一緒に作業をして、高齢者と交流することを楽しんでいました。医局では井上悟先生・内山翔太郎先生にインタビューの時間をいただきましたが、物おじせず先生方を質問攻めにしていました。

初日は緊張した面持ちでしたが、当院での体験を通して更に興味を深めたようで、最終日の見送りの時には皆いい笑顔で帰って行きました。

今回、体験学習の受け入れのため、各部署の皆さまには多忙な業務の中、快く受け入れていただき、また親切丁寧に対応していただき、誠にありがとうございました。



やまもも保育所 親子レク 秋の作品作り

やまもも保育所 中村 江麻

11月22日(火) 保育所内において、親子で文化祭に向けての作品作りを行いました。さて、この日に向けて今年も環境認識の課業の一環として、子ども達と散歩に出掛けて、いろいろな材料を子ども達と一緒に用意しました。材料となりそうな物を見付けると「これ、何かに使えるかな?」「これ、キレイだね!」などと話しをしながら目的の材料となる、どんぐり・木の実・木の枝・植物などをコツコツと集めていました。

そしていよいよ当日…まずは、親子で材料選びからスタート!今年も親子で作るテーマを決めてもらい、割とスムーズに材料を集めて親子で力を合わせて作品作りに取り掛かっていました。お父さんが大工さんのように、のこぎりを持って切る姿を真剣に見入っていた子…作っている途中に「これでいいのかな?」などと作りながら確認する親子の姿、おつかいのように材料を取りに行く子供の姿、子どものやれる事を任せて見守る親の姿、子どもよりも真剣に作品に取り組む親の姿(意外と親の方が童心に戻って手仕事をしていましたね。)など…そんな素敵な光景とともに、ここには書ききれない程の微笑ましい会話があちらこちらから聞こえてきました。終わってみれば、素敵な作品でテーブルいっぱい

でした。

限られた時間の中でしたが、普段の忙しい生活の中で、この時ばかりは時間を忘れて親子で会話を楽しみながら一つの作品に真剣に取り組めたことは、とてもいい思い出になったと思います。また、その中で子どもの成長にも気付く事が出来たと思います。



初勝利！！

第7回コルツァカップ（千葉県精神障害者フットサル大会）

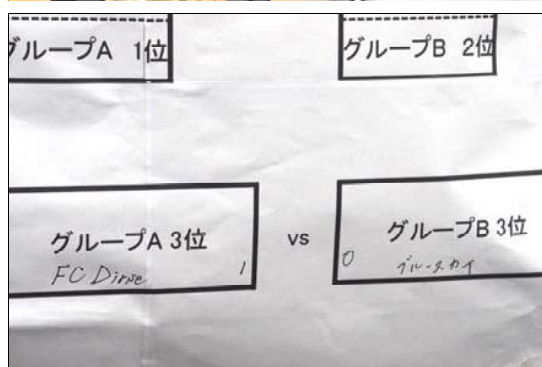
リハビリ部 精神リハビリテーション科 遠藤 泰樹

11月23日（水）に日頃練習しているデイケアメンバー9名とスタッフ4名でフットサル大会に参加してきました。今大会は千葉県内から6チームの参加となり、3チームずつのグループに分け、その後順位に応じてトーナメントを実施するという形態をとっていました。

さて、当日は少し肌寒く感じましたが、この日のために気合を入れて練習してきたメンバーは、熱戦を演じてくれました。初戦は、鋭い突破からの数多くのシュートを放ちましたが、相手 GK の堅守もあり得点できず、対照的に一本の CK から失点をしてしまい0-1という悔しい敗戦してしまいました。

二戦目は、全国大会で何度も優勝している強豪チーム、さすがというボールさばきで終始ゲームをコントロールされ0-5で敗戦しました。この結果から5、6位決定戦に回ることになりました。

その最終試合は、両チームなかなかチャンスを活かせず拮抗した試合を続けておりましたが、後半ついに見事なミドルシュートが相手ゴールに突き刺し、勝ち越しに成功、そのまま1-0で勝利しました。



結果としては5位でしたが、この勝利は浅井デイケアフットサルチームの記念すべき初勝利となりました（創立8年くらいでようやく…）。この1年間でメンバーが大きく成長していたのは明らかだっただけにもう少し上を目指したかったのですが、勝負は厳しいものです。ただ、大きな一歩を踏み出したことは間違いなく感じています。

加えて本大会は、大会終了後にレセプション（軽食を取りながら参加者が交流する場）が設けられました。そこでは、全てのスタッフ、当事者が混ざり談笑し、また今後の精神障害者フットサルの発展の方向性等について意見交換しました。どのチームもやはり人集めには苦労し

ているようであり、どうしたら盛り上げることができるかということに焦点が当たっていました。さらに、フットサルをするようになって元気になったが、その後のステップアップをどうすべきか悩んでいると話している方もおり、まだまだ課題は多いようです。しかしながら、話し合いに耳を傾けていると地域、特に精神科の垣根を越えたところまで徐々に意識が向いており、参加者自身から真のソーシャルインクルージョンを求められる時にあることを感じました。

ところで、この大会は今年で7回目を迎えます。正確にはわかりませんが、恐らく7年前から開催されてきたのだと思われます。エンジョイが主流の精神障害者スポーツの中で勝ち上がると関東大会、全国大会とつながっていく数少ない競技志向として発展してきた大会でもあります。実は、私個人としても思い入れのある大会であり、学生ボランティアとして(たぶん)第5回から関わらせていただいています。そして、この大会が初めて精神障害者と接する機会となりました。当時、外部から見学した感想は、率直に「この人たちのどこが病気なのだろう」でした。そのくらい参加者はコート内を躍動し、見ているだけでは障害という重みある言葉が不釣り合いに感じたのを覚えています。それは今回もさほど変わりませんでした。きっとそれは、フットボールやスポーツ全般が持つ大きな力だと思います。そんな力にあやかって、本デイケアフットサルチ



ームは各々が楽しめることはもちろん、それぞれに合ったステップアップの糧となるようなチームでありたいと考えております(勝手にですが…)。非常にまとまりの悪い文章となってしまいましたが、引き続き応援よろしくお願い致します。

お正月華の注文を承ります!

価格 一杯1200円 和風と洋風が選べます。

ご希望の方は、リハビリ部・精神科デイケア科 安井までご連絡下さい。[内線2203・2204 外線(58)7023]

締め切りは12月16日(金)昼までです。

ご注文された方は、12月22日(木)13時半以降にデイケアまで取りに来てください。



ゆりの木苑・デイサービス「食」のイベント

ゆりの木苑 デイサービス課 副島 仁子

ゆりの木苑のデイサービスでは、11月17日（木）デイサービスで第126回目、食のイベントを開催致しました。当日は、53名の方が参加いただきました。

秋の和食ご膳ということで、メニューは、栗ごはん、なすのおろし煮、のっぺい汁、鮭のちゃんちゃん焼き、青菜と黄菊の和え物、水ようかん、おやつはミルクケーキでした。栗ごはんは、今年初物だと、おいしそうに口に運ばれていました。また、副菜も色々楽しめたようで、皆様満足そうに召し上がっていました。

「月1回の『食』のイベントをととても楽しみにしています。」とロク々にご利用者様よりお話し下さいました。

来月は、いよいよ今年最後のイベントです。12月といえば・・・クリスマスかな？喜んで頂けるように取り組んでいきたいと思ひます。



－利用者の方に信頼される接遇対応 心のコミュニケーション①（11月・12月）－

「“患者さんの立場に立つ”とは」

教育研修委員会

行事予定 12月5日（月）～12月11日（日）

5日（月）	看護会議	14:00～15:30・A棟小会議室
	デイケア・パンお菓子作り・吹奏・忘年会	11:00～14:00・大衆イタリアン食堂 大福
	A2病棟・レク（上映会）	14:00～15:00・病棟ホール
	E2病棟・レク（上映会）	14:00～15:00・病棟ホール
6日（火）	安全運転講習会	13:00～14:00・A棟小会議室
	医療観察法会議	13:30～16:00・A棟大会議室
	入退院カンファレンス	14:30～15:30・A棟小会議室
	内科カンファレンス	15:00～16:00・A棟カンファレンス室
	薬事委員会	16:00～16:30・A棟カンファレンス室
	医局会	16:30～18:00・A棟カンファレンス室
	喫茶レインボー	13:30～15:00・D棟1階プレリワーク内
	A4病棟・レク（ミニ茶会）	14:00～14:45・病棟ホール
	C病棟・レク（上映会）	14:00～15:00・病棟ホール
	E2病棟・レク（クリスマス会）	14:00～15:00・病棟ホール
	E1病棟・レク（ビデオ鑑賞）	14:30～15:30・病棟ホール
A2病棟・レク（移動図書館）	15:00～16:00・病棟ホール	
7日（水）	精神科救急（夜間）	
	精神科デイケア「心の美術展」参加	12:00～18:30・千葉市民会館小ホール
	医療機関立入検査（医療監視）書類審査	10:00～12:00・A棟小会議室
	医療機関立入検査（医療監視）	13:30～17:00・A棟大会議室
	山武保健所精神保健相談	・小澤 Dr.
	A2病棟・レク（喫茶茶々まる）	14:00～15:00・病棟ホール
	C病棟・レク（クリスマスパーティー）	14:00～15:00・病棟ホール
老健施設・水曜会	16:30～17:30・老健施設	
8日（木）	安全運転講習会	13:00～14:00・A棟小会議室
	指導教育委員会	15:00～16:30・A棟小会議室
	精神医療審査会	・浅井 Dr.
	障害支援区分認定審査会	・原 Dr.
	STEP・カラオケレクリエーション	10:30～13:30・シダックス
	A1病棟・軽スポーツ（卓球）	14:00～15:00・病棟ホール
	A4病棟・レク（排便体操）	14:00～14:45・病棟ホール
	E2病棟・レク（カラオケ）	14:00～15:00・病棟ホール
	E1病棟・レク（お茶会）	14:30～15:30・病棟ホール
	老健施設・正気地区ボランティア来訪	・老健施設
ゆりの木苑・インフィニティー会議	16:40～17:40・ゆりの木苑	

9日(金)	院長全病回診	13:00～14:00
	M L - B L 会議	14:00～15:00・A棟大会議室
	事務会議	15:00～16:00・A棟大会議室
	精神科リエゾン	15:00～15:30・B2病棟
	レク作業委員会	15:30～16:30・C棟共同OT室
	社会復帰委員会	16:30～17:30・A棟小会議室
	第75回認知行動療法勉強会	18:00～19:00・A棟大会議室
	演者 齊藤 渚 先生(心理科)	
	演題 ビジョントレーニングについて	
	第9回「事例検討会」	18:00～20:00・STEP
	ミニ講座 講師 秀野 武彦 院長	
	「前頭側頭型認知症について」	
	厚生相談	・小澤 Dr.
A1病棟・レク(カラオケ)	14:00～15:00・病棟ホール	
A2病棟・レク(カラオケ)	14:00～15:00・病棟ホール	
A3病棟・レク(カラオケ)	14:00～15:00・病棟ホール	
A4病棟・レク(上映会)	14:00～14:45・病棟ホール	
C病棟・レク(ミニお茶会)	14:00～15:00・病棟ホール	
10日(土)	精神科救急(夜間)	
	実習指導者会	16:00～17:00・A棟小会議室
	E2病棟・レク(上映会)	14:00～15:00・病棟ホール
11日(日)	内科休日当番(日中)	
	第20回街Cafe さくら	13:00～16:00・SUNFLOWER



医療法人静和会 浅井病院

●理念●

利用者中心に思考し、利用者とともに歩み、真に利用者には選ばれる病院を目指します。

●基本方針●

1. 自然治癒能力に敬意を払い、個人の生き方を尊重します。
2. 真心を持って医療を実践し、心の通い合うケアを提供します。
3. 心身一体として存在する個人に、総合的かつ多面的に医療を提供します。
4. いつでもどなたでも、安心して利用いただける、開かれた病院を目指します。
5. 常に自己研鑽に努め、日本はもとより世界に誇れる医療サービスを目指します。

◇ お 知 ら せ ◇

人事異動 12月1日付

浅井病院

A 2 病棟	看護師	米迫 隼人	→	A 1 病棟	勤務
A 1 病棟	看護師	西平 直仁	→	A 2 病棟	勤務
A 1 病棟	看護師	西川 康子	→	D 病棟	勤務

老人ケアセンター浅井

療養介護 I 科	科長	杉本 麻里子	→	療養部	部長代行
療養介護 I 科	主任	戸田 大輔	→	療養介護 I 科	科長
療養介護 I 科	主任	伊藤 浩	→	療養介護 II 科	科長
療養介護 II 科	主任	森 令子	→	療養介護 I 科	主任
療養介護 I 科		木村 治央	→	療養介護 I 科	主任
デイケア介護 I 科	主任	長谷川 伸子	→	療養介護 II 科	主任
療養介護 II 科	科長	紫野 美奈子	→	デイケア介護 I 科	勤務

..... 《 編 集 後 記 》

早いものでもう12月ですね。そして忘年会シーズン！この時期になるとどうしても暴飲暴食をしてしまい体重も増加、体調も崩しがちになってしまいます。毎年気を付けようと思っていながら、なかなか管理できずに年明けになって「あれ？太った？」とお決まりのセリフ・・・今年こそはお決まりのセリフを言われないように体調管理したいと思います（自信ありませんが、、、(+o+)）。

#16

